

一陽来福

平成 31 年の新年です。いかがお迎えになりましたか？

今年の最大の楽しみは、新天皇陛下の即位による新元号の発表です。いかなる元号が…。

平成の最後の年頭にあたり、30 年余りを振り返ってみます。

尾花沢に住み始めたのは、昭和 56 年 4 月からです。38 年もの年月をおばね衆の一人として過しました。我が人生の半分になります。この間、全力を尽したかと問われると、自信がありません。もっとも周りの役に立つ生き様が有ったのではと、反省しております。前半は子育て、後半は自身に発症した病との闘いになりました。医者の不養生かもしれません。避けられないものと納得し、現在も共生しております。有る意味、患者さんと同じ目線での尊い体験が出来ました。

感謝一杯の毎日です。



昨年 6 月より、息子の友久が助っ人になってくれております。少し余裕が出来るようになりましたことから、現在関係している特別養護老人ホームや介護老人保健施設での仕事をじっくりと学び、いかにして利用される方々の満足度を高められるかや、将来自ら進んで入所したいと思える施設になるか等を考えてみます。



少子高齢化の進行しつつある我が国でも、近隣諸国に労力の一部を頼らなくては為らない時が迫りつつあります。国会でも審議されましたが、十分な手当てになるかなど問題山積みです。現場では業務を一時も中断出来ません。多くの職種の方々との連携を強め、理想的な施設の運営が可能になるよう頑張りたいと考えます。

新年の決意を表明させていただきました。

今年もご教示、ご鞭撻宜しくお願い致します。

平成 31 年 1 月 1 日 院長 清治 邦夫